

ご参考：『アウトランダー PHEV』について

ミッドサイズ SUV のプラグインハイブリッド EV『アウトランダー PHEV』は三菱自動車の技術の粋を集めたフラッグシップモデルです。

高出力モーター、大容量バッテリー、そして、効率と静粛性に優れた 2.4L エンジンで構成されるプラグインハイブリッド EV (PHEV) システムを搭載し、力強く滑らかで静かな EV らしい走りと優れた環境性能を発揮します。

また、ツインモーター 4WD をベースとした車両運動統合制御システム「S-AWC」を採用。前後のモーターで常に 4 輪の駆動力を最適制御し、意のままの操縦性と卓越した安定性を実現します。

2013 年 1 月に発売開始し、これまでに約 50 ヶ国で販売。累計販売台数は約 23 万台 (2019 年 11 月末時点) であり、プラグインハイブリッドとして世界累計販売台数 NO.1 です。^{※1}

【ポイント】

- 1 回の充電で約 65.0km^{※2}の EV 走行が可能です。
- 100V (最大出力 1500W) のコンセントを車内 2 箇所に設置。外出先でも電気が使用可能。^{※3}
- 満充電・ガソリン満タンで一般家庭最大約 10 日分^{※4}の電力量が供給可能。



アウトランダー PHEV 「S Edition」 [ホワイトパール/ブラックマイカ (有料色^{※5})]

アウトランダー PHEV ホームページ：

https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/outlander_phev/special_portal/

^{※1} 2018 年 12 月末時点 JATO Dynamics Limited 調べ

^{※2} 定められた試験条件 (JC08 モード) のもとでの値です。実際にはお客様の使用環境 (気象・渋滞等) や運転方法 (急発進・エアコン使用等) に応じて大きく異なります。とくに 1 日当たりの走行距離、バッテリーの充電状態、エアコン使用による影響を大きく受けます。

^{※3} 使用する電気製品に付属の取扱説明書や、製品に記載されている注意事項をご覧ください。

^{※4} 供給可能電力量は当社試算による (一般家庭での一日当たりの使用電力量を約 10kWh/日として算出、V2H 機器等の変換効率を含みません)。住宅との接続には V2H 機器が必要です。V2H 機器に接続している場合、エンジン始動による発電はできません。エンジンでの発電を行う場合は、V2H 機器との接続を終了してください。V2H 機器については、営業スタッフまたは各 V2H 機器取扱メーカーにおたずねください。

^{※5} 有料色 88,000 円 (消費税 10%込)

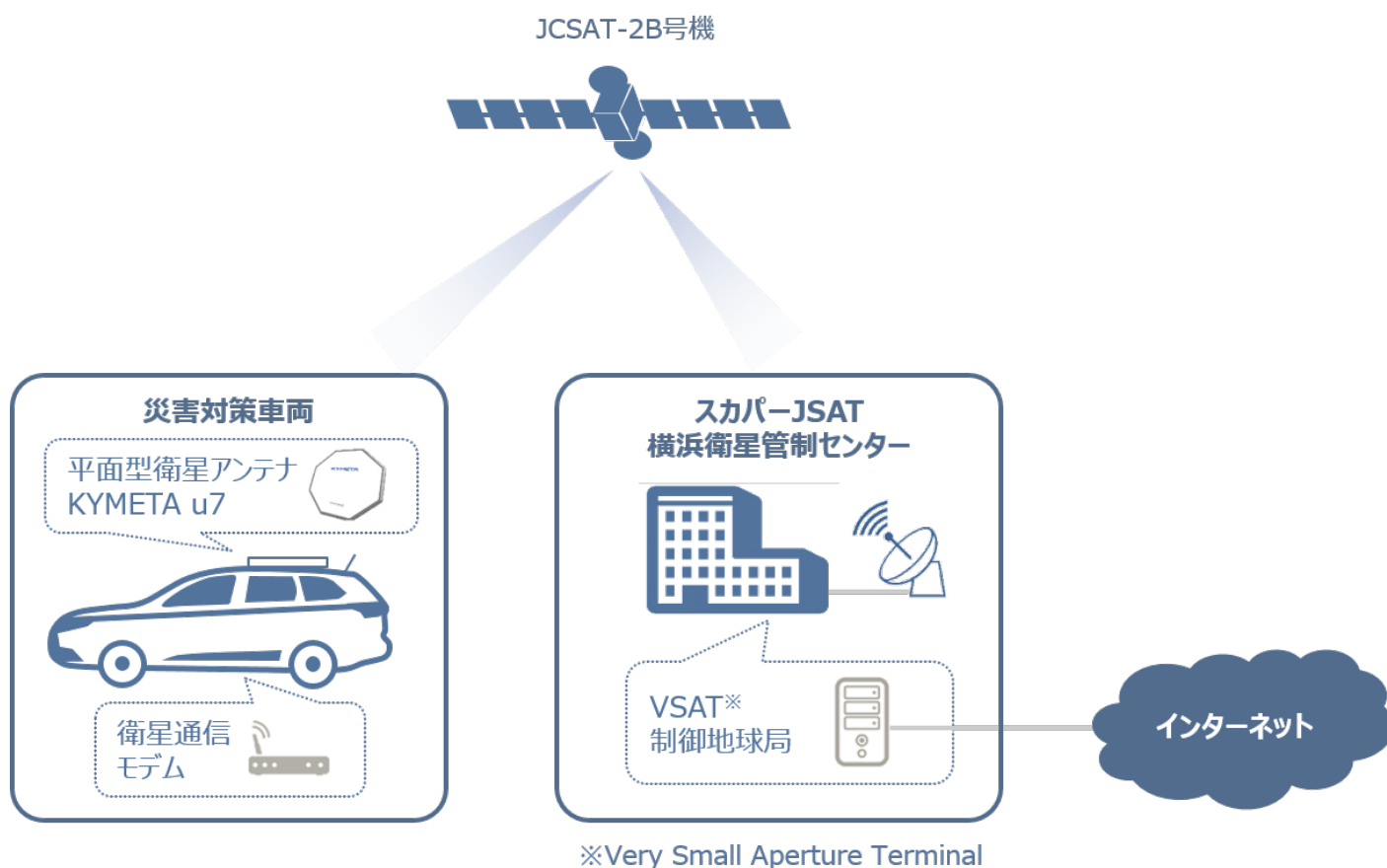
ご参考：平面型衛星アンテナを利用した衛星通信サービスについて

スカパーJSATは、2017年3月にKymeta Corporation（本社：アメリカ合衆国、President Walter Z. Berger、以下カイメタ社）への出資と戦略的業務提携を行い、同10月に国内での移動体向け衛星通信に成功しました。以降、国内外での技術検証およびデモンストレーションを継続的に実施しています。

カイメタ社の平面型衛星アンテナ KYMETA u7（カイメタ ユーセブン）は、様々な移動体（車両・電車・船舶等）に搭載可能で、走行中の移動体でも双方向通信が利用できます。“自動衛星捕捉”および“省スペース”という平面アンテナがもつ利点により、平常時はもちろんのこと、災害時においても機動性の高い運用が可能となることから、災害救助活動等に用いられる特殊車両での活躍が期待されています。また、どなたでも簡単に利用することができる為、BCP対策にも適しています。

今回、KYMETA u7とスカパーJSATが運用するVSATシステムのプラットフォームを組み合わせることにより、衛星通信機器の運用がさらに簡便化され、お客様にとって利便性の高い衛星通信サービスを実現しました。

【衛星通信サービス 概念図】



東経154度のJCSAT-2B号機を介して、災害対策車両とスカパーJSAT横浜衛星管制センターとの間で双方向通信を確立し、インターネットへ接続します。車両内には、アンテナ用のインターフェースボックスと衛星通信モデムを設置することで、衛星通信システムを構築可能です。

準天頂衛星システム「みちびき」

日本の天頂付近、“準”天頂を通る準天頂軌道衛星 3 機と静止衛星 1 機を組み合わせ、常に 1 機以上の衛星を日本の上空に配置することができる日本独自の測位(位置を測定する)衛星システムです。測位の安定性や精度を向上させるとともに、防災情報の配信や災害時に避難所などの情報を収集する手段として利用できます。

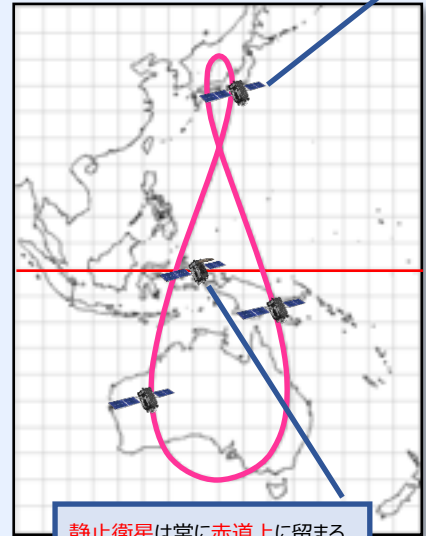
また、2023年度をめどに7機体制の整備が計画されています。

▶ みちびきホームページ <https://qzss.go.jp/>

日本上空(仰角70度以上)に、**8時間**留まり、3機の衛星が順番に日本上空に滞在する

提供サービスと軌道

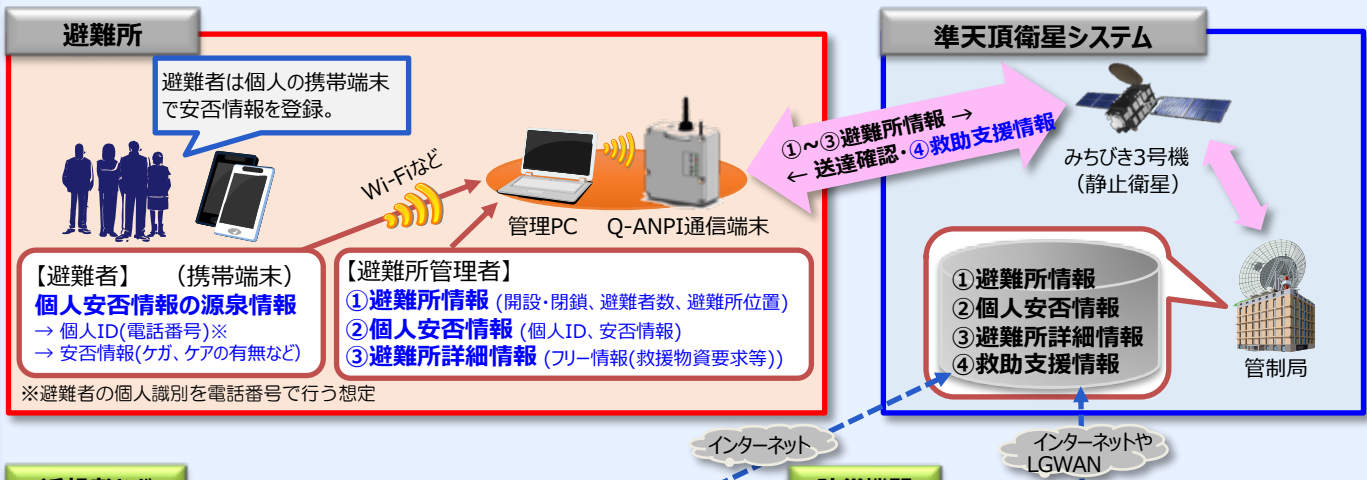
	サービス名称	サービス概要
測位関連	衛星測位サービス	GPS衛星と互換性のある測位信号をユーザに提供(信号:L1C/A,L1C,L2C,L5)
	センチメートル級測位補強サービス(略称:CLAS)	水平精度6cm(95%)※注の高精度な測位補強信号をユーザに提供(信号:L6)
	サブメートル級測位補強サービス(略称:SLAS)	水平精度1m(95%)※注の測位補強信号をユーザに提供(信号:L1S)
関連メッセージ	災害・危機管理通報サービス(略称:災危通報)	防災分野での利用ユーザ向けメッセージ配信サービス(信号:L1S)
	衛星安否確認サービス(略称:Q-ANPI)	避難所における情報収集システムとしての利用を想定(信号:Sバンド)



静止衛星は常に赤道上に留まる

※注: マルチパスや電離層の活動の影響により、精度は異なります。

衛星安否確認サービス (Q-ANPI)



近親者など

電話番号を入力して検索

個人安否情報 (イメージ)

個人番号 09012345678

1ページの表示データ数 30 検索

安否情報受信日時	2017-10-03 16:39:28(JST)
個人番号	09012345678
避難所名	XX小学校
利用機関名	AA県BB市
避難所位置	33.xxxx, 135.yyyy
安否情報	怪我:あり; 介護・介助:必要; 要援護者分類:高齢者
安否情報受信日時	:2017-09-29 16:46:03(JST)
個人番号	09012345678

個人の安否情報の確認

ホームページで電話番号をキーに検索することで、避難者※の避難先や安否情報を入手。

※個人安否情報登録時に公表を許可した避難者のみ。

防災機関

避難所の状況を確認、救助支援情報を送信。

【関係府省庁、地方自治体等】

④救助支援情報 (フリー情報(避難所宛の支援情報等))

避難所情報 (イメージ)

地理院地図 都道府県 和歌山県 市町村 串本町 表示 避難所情報一覧

過去の避難所情報はこちら (お5/25/2018)

大野小学校 (休校中) 160

志保町 145

東口コミュニティセンター

国土地理院